

① 土づくり（1㎡あたりの量）

- ・石 灰 100g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておくとうい
- ・牛糞堆肥 3リットル
- ・肥料 100g
- ※用意できれば最高です！
- ・魚粉 100g
- ・ようりん 50g
- ※魚粉はイチゴを甘くし、ようりんは実を大きくします。

② 植え付け

- ・マルチや敷き藁を施す
→ 水やりの時の土の跳ね返り防止、果実の汚染防止、凍害防止のため。
- ・ランナーが内側にくるように植えます。
→ イチゴはランナーと逆側に実を多く付けますので、収穫しやすいようにします。
- ・クラウン（生長点）が必ず地上部に出るように、やや浅めに植えます。

③ 植え付け後の管理（越冬前）

- ・枯れ葉や下葉は、随時かきとるように心がけます。
- ・11月に入ったら、保温・冷風害による株の痛みを防ぐために、不織布でべたがけをします。
(植え付け時に、防虫対策も含め、トンネルを施しても良いです)

④ 植え付け時の管理（越冬後）

- ・雪解け後、越冬時に損傷した葉や枯れ葉をかきとります。
- ・葉かきが終わったら、追肥をします（根元に5g程度）
※根は雪が解けると活動を始めるので、遅れないようにします。
- ・開花が始まったころに、追肥をします。（根元に5g程度）
- ・開花が始まったら、昆虫等がいる場合は問題ないのですが、いない場合は、筆で花の中心部をこするようにして、受粉させます。
- ・実が赤く色付いてくると鳥が狙ってきますので、防鳥ネットやトンネルを張り対策をします。

【留意点】

- ・イチゴの根は肥料にとっても弱いので、肥料の与えすぎに注意です。
また強すぎる肥料は避けた方が良いでしょう。
- ・5月中旬～6月中旬で甘いイチゴが収穫できます。とてもおいしいので、家族でケンカにならないようにしましょう（笑）